

ものづくりを支える生産加工技術の最新動向

主催 中部生産加工技術振興会、名古屋市工業研究所

協賛 (公財)名古屋産業振興公社、(公社)自動車技術会中部支部、(公社)精密工学会東海支部、
(一社)日本熱処理技術協会中部支部、中部溶接振興会、中部金型技術振興会、中部歯車懇話会
後援 中部経済産業局、(公財)中部科学技術センター

参加費
無料*

令和5年6月21日(水) 14:10~16:30 (受付は13:30から)

名古屋市工業研究所 第2会議室(管理棟4階)
名古屋市熱田区六番三丁目4番41号 地下鉄名港線「六番町」下車(3番出口)すぐ

*資料代1,000円

DX(デジタルトランスフォーメーション)やGX(グリーントランスフォーメーション)が推進される中、自動車産業をはじめとした製造業は、100年に一度の大変革の時代を向かえているといわれています。ものづくりの基盤技術として、今後も生産加工技術を有効に活用していただくため、本講演会では、長きにわたり加工技術研究の第一人者としてご活躍されている先生方を講師としてお招きし、切削加工及び表面硬化熱処理に関する最新動向と将来展望についてご紹介させていただきます。多数の参加をお待ちいたしております。

■プログラム

14:15~15:15 『次世代の切削加工・工作機械技術を目指して』

名古屋大学大学院工学研究科 航空宇宙工学専攻 教授 社本 英二 氏

継続的な新技術創出が求められる中、講演者らの研究室も従来の精度や能率を超える新しい切削加工技術を創出し、企業と協同で実用化しています。本講演では、切削に関わる研究開発の方向性を整理し、各方向の研究開発例をご紹介します。

15:30~16:30 『表面硬化熱処理の現状と今後進むべき方向』

豊田工業大学 材料プロセス研究室 教授 奥宮 正洋 氏

機械構造用鋼部品の疲れ強さや耐摩耗性を向上させるために、表面硬化熱処理が利用されています。本講演では、表面硬化熱処理の利点・必要性を述べるとともに、今後も利用され続けるためにどのように変化していくべきかについてご紹介いたします。

■定員 50名

■参加費 無料(※資料代1,000円、ただし中部生産加工技術振興会員は無料)

■申込方法 下記の件名および①~⑦を記載して申込先E-mailアドレスまでお送り下さい。

件名:「生産加工技術講演会参加申込」

①会社・団体名、②所在地、③参加者氏名、④所属・役職、⑤TEL、⑥E-mailアドレス、
⑦講演会資料希望の有無、⑧メルマガ(NMIRI技術ニュース)配信希望の有無(工業研究所のイベント情報等を月1回配信)

※送信頂きました個人情報、講師への情報提供等の本講演会に関する目的、希望者へのメルマガ配信以外には使用致しません。

■締切 6月16日(金)

■申込先 中部生産加工技術振興会事務局

(E-mail) seisankako_seminar@nmiri.city.nagoya.jp

(担当者)名古屋市工業研究所 計測技術研究室 山内 TEL:052-654-9877

■ご注意 こちらからお断りの連絡がない限りご参加下さい。参加証は発行致しません。
開催当日、発熱・風邪症状のある方は参加をご遠慮下さい。